

摂食・嚥下専門外来

食べることは人生の喜びの一つであり、おいしく食べることは元気に生活するための基本となります。その「食べること」が難しくなる障害を『摂食・嚥下障害』といい、脳卒中の後遺症や神経難病、認知症、加齢などによって起こることがあります。

摂食・嚥下障害とは？

食事中にむせたり、飲みにくくなって食べるのが困難になることです。飲み込みだけでなく、食べ物や口に入れることや、嚥むことの障害、さらに認知症のために食べ物を認識できず、「食べたい」という気持ちが起こらなくなることも含まれます。

最近こんな症状はありませんか？

つぎのような症状が続く時は摂食・嚥下障害が疑われます。

- ・ 食事中にむせる
- ・ 飲み物が苦手になった
- ・ 痰が増えた
- ・ 体重が減った
- ・ 食べると疲れる
- ・ 弱い咳がなかなか取れない
- ・ 食べ始めると声がガラガラする
- ・ 飲み込んだ後、のどに違和感がある
- ・ 肺炎を繰り返している
- ・ 食べるのに時間がかかる

このような症状は、摂食・嚥下障害が原因で起こっている場合がありますので、一度専門的な検査を受けてみられることをお勧めします。

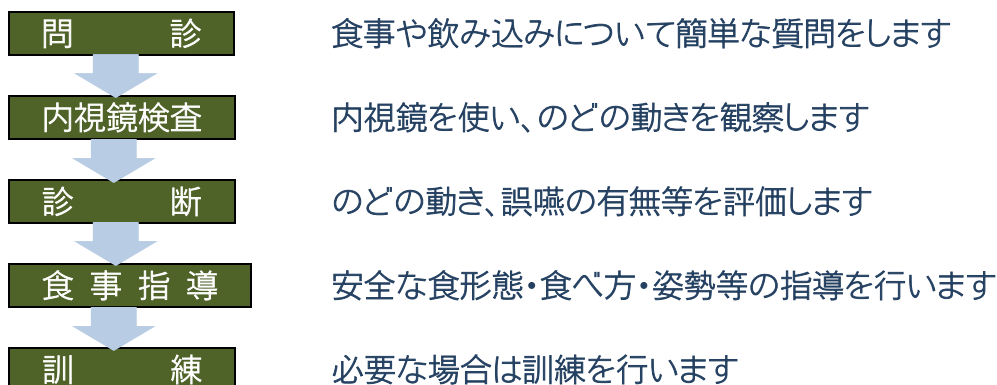
摂食・嚥下障害で起こる問題とは？

- ・ 低栄養・脱水…食べられないために、栄養が取れず体力が低下したり脱水症状を起こします。
- ・ 誤嚥性肺炎…食べ物や唾液が誤って気管の方へ入ってしまうことを誤嚥といいます。誤嚥が原因で起こる肺炎が誤嚥性肺炎です。高齢者の肺炎の多くが誤嚥性肺炎といわれています。
- ・ 窒息…食べ物の大きな塊がのどや気管を塞いで、呼吸が出来なくなることがあります。
- ・ 食べる楽しみが損なわれる…おいしく、安全に食べるという楽しみが損なわれてしまいます。

検査

鼻から内視鏡をのどまで入れて、のどの部分を直視して観察します。

診察の流れ



ご相談・お問い合わせ・診察のご予約

摂食・嚥下専門外来は予約制です。事前に電話等でご予約ください。

診察日および担当医師

診察日 毎週木曜日 午後 1 時～3 時
担当医 木村医師

お問い合わせ先

適寿リハビリテーション病院
電話 078(612)5533 <http://www.tekiju.com>
神戸市長田区花山町 2 丁目 11 番 32 号